

令和6年9月12日

化学工学会第55回秋季大会
反応工学部会ポスターセッション
オーガナイザー
廣田雄一郎（名古屋工業大学）・
村中陽介（京都大学）・岸田昌浩（九州大学）・
桜井 誠（東京農工大学）・河瀬元明（京都大学）・
藤墳大裕（京都大学）・中坂佑太（北海道大学）

化学工学会第55回秋季大会反応工学部主催学生ポスター研究発表優秀者について

化学工学会第55回秋季大会における反応工学部主催学生ポスター研究発表において、活発な議論が行われました。その中でも厳選な審査結果、下記の方が優秀発表として選ばれました。

講演番号	所属	氏名	講演題目
YB115	大阪大学	久保田祥平	Ni 導入コアシェル型ゼオライトを用いた ETP 反応
YB116	名古屋工業大学	塚本隼大	Methanol-to-Aromatics 反応でのコア-シェル構造 MEL 型ゼオライトの触媒活性
YB123	岐阜大学	磯貝晴香	白金代替アンモニア酸化触媒の開発
YB128	信州大学	関川希海	脂肪酸組成の影響を考慮した植物油接触分解反応の収率予測モデルの構築
YB130	明治大学	高岡 翔	機械学習による高分子ニッケル触媒を用いた鈴木・宮浦型クロスカップリング反応の収率予測モデルの構築および新規高分子ニッケル触媒の提案
YB132	Korea University	任阳民	還元機構に基づく透過性反応壁の幅設計における機械学習の応用
YB138	東京工業大学	望田碧葉	一酸化炭素を原料とする垂直配向カーボンナノチューブの合成
YB157	岐阜大学	平田乃彩	石炭ガス化複合発電プロセス(IGCC)における各種微量元素の挙動



岸田部会長と受賞者